

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	ころぼっくる保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	山本 俊	定員(利用人数)：	19 名
所在地：	〒 330-0856 埼玉県さいたま市大宮区三橋三丁目203-1	Tel	048-783-3096

③評価実施期間

令和 5年 6月1日(契約日)～令和 5年12月18日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○子どもが健やかに成長するように、職員が保護者の気持ちに寄り添い、相談に応じながらともに考えてより良い方向性を見出せるように、働きかけをしている

園では、保護者が相談しやすい良好な関係づくりに努めている。子どもの様子で気になることがあった場合には、子どもの家庭環境や保護者の就労状況を考慮して、職員から解決策や家庭での対応を提案せずに、まずは園でできることから始めている。園での子どもの生活リズムを整える等、園でできることをまずはやってみて、子どもに変化がみられた際には、保護者に話している。子どもの成長とともに解決できることもあるが、保護者も子どもと共に成長できるように園全体で支援している。

○様々な過去の課題を乗り越えて、多くの職員が、それぞれに、保育園の運営や子どもへの関心と保育への思いを持っている

第三者評価の調査を通して、職員から多くの貴重な意見が寄せられている。中でも、園の良い点として、園の清潔な室内環境や、園児の成長や変化、現場の保育改善への取組みの手応えなどがあげられ、職員の子どもや保育への思いが伺われる。同時に、園運営の見えない部分や整理されていない部分についても、率直な意見が寄せられており、園長など経営層への強い期待も込められている。職員一人ひとりのもつ、子どもや保育園への強い思いと、園長や経営層への期待が、今後活かすべき園の強みとなっている。

○園長や職員との共通理解のもと、子どもの主体性を発揮させる保育園をめざしている

小規模保育園なので、子ども一人ひとりとじっくり関わることができ、子どもの気持ちに寄り添った温かな保育が提供できており、クラスの枠を超えて全職員で子どもを見守っていく体制が取られている。保護者とも良好な関係を築いている。常に子どもにとって何が大切で何をしていたかなければならないのかを、園長はじめ職員が問題意識を持って行動し、子どもをまん中において日々保育に当たっている。全体的な計画や保健計画などを職員と作成し、評価反省を行い次年度につなげる重要性を意識し、トップダウンではなく職員の共通理解のもと行っていくとしている。全国保育士会作成の「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を使用し職員間で共通理解する予定であり、会議で職員一人ひとりが自由に意見を述べるような体制の構築をめざしている。

◇特にコメントを要する点

○子どもたちの主体的な遊びが展開できるような、室内環境のスペースの使い方などのさらなる工夫を期待する

各クラスとも室内はきれいに整理整頓されており、室内が広く自然光が入るため明るく子どもたちがのびのびと遊べる環境にある。遊びに関して玩具類は、0歳児はロッカーの下部に玩具が置いてあり、子どもたちが遊びたい玩具を自由に出して遊べるようになっている。1～2歳児は職員が子どもたちに遊びたい好きな玩具を聞きながら取り出し提供することが多く、玩具も戸棚に収納されている。子どもたちが遊びたい玩具を自由に出して、楽しんで遊びが展開できるような玩具の収納の工夫や見せ方玩具の種類などの検討を進めて欲しい。室内が広いので、いつでも決まった場所（コーナー）にいけば安心して落ち着いて遊ぶことのできる場所の確保を試験的につくる等、職員で改善点の検討を行いさらなる保育環境の工夫に期待したい。

○園が一体的な組織となる土台として、職務分掌の見直しと再整理、共通理解づくりを行ってほしい

管理者の役割については、職務分掌に整理しているが、主任の不在など、分掌上の職務の種類や内容と、実態の乖離が確認される。また、園オーナーである事務局長の職務範囲と実態の齟齬について、園長との調整、職員理解が得られていないなど、今後の園運営の課題が見られる。園長、主任、事務局長の役割と職務の実態を検証し、あるべき姿に一步一步でも近づけてほしい。あらためて、専門家とも相談し、園運営の土台としての職務、職責、権限の範囲を定め、職員とも共通理解の上、不断の見直しをしていくことが求められる。

○事務局長には、陰ながら新園長を見守り更なる成長を後押し、円明会の発展に寄与する関わりを期待したい

様々な課題や、課題克服への関係者からの応援もあったが、社会福祉法人円明会として2つの園をここまで発展させてきた前園長（現事務局長）の貢献には大きいものがある。一方、昨年度より、新しい園長を後継者として育成しはじめ、更なる進展を目指しているが、新たな課題を抱えている。新園長や職員の保育に対する考え方と、前園長（事務局長）の考え方の行き違いが、職員調査の結果から感じられる。前園長の主張も十分理解できるが、事務局長として新園長を支える組織体系となっていることを踏まえ、事務局長には、陰ながら新園長を見守り更なる成長を後押し、円明会の発展に寄与する関わりを期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の第三者評価を受けて、私どもだけでは見えていなかった問題点や、保護者の方の率直な意見が聞けるいい機会になったと感じております。また、職員同士で話し合ういいきっかけにもなり、より一層保育園を良くしていこうと考えるに至りました。今後の保育園経営にも活かしながら、皆様のご意見に耳を傾けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり